

インターナショナル・ドイツ・トゥルンフェスト視察報告

川端昭夫* 荒木達雄** 春山国広***

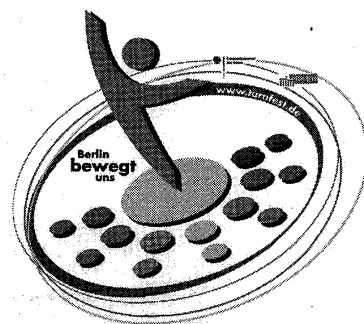
Report on the international germany sports festival in Berlin 2005
(Internationales Deutsches Turnfest in Berlin 2005)

Akio KAWABATA*, Tatsuo ARAKI** and Kunihiro HARUYAMA***

1. はじめに

ドイツ体操祭への視察は、初回ミュンヘン、2回目ライプチヒ、今回のベルリンの3度目である。ドイツの地への憧れと、スポーツ・体操・ダンスのこだわりから開催の度に、熱い思いにかられる。今回のトゥルンフェストは、インターナショナル・ドイツ・トゥルンフェストと名づけられ、今までと異なる開催意図が感じられた。筆者のツアーの意味は、①ドイツ最大のスポーツ祭の尽きない興味、②“国際”と称し国内外から10万人に集める大会、③2回の演技発表（今回は、International GalaとSony Centerでの発表）、④ドイツで育まれたスポーツとの出会い、⑤ドイツの豊富な体操やダンスの発表の視察、⑥フィットネスの新情報獲得、⑦首都ベルリン市内の文化や観光などがあり、回を重ねることに欲がでる視察である。また、ベルリンは、第11回のワールドジムナエストラダの開催地であり、大規模なスケールの大会や素晴らしい演技内容のさることながら、トゥルンフェスト発祥地ハーゼンハイデの訪問や象徴ブランデブルグ門や博物館などの多くの文化財にも魅せられた。ただ、東西の壁が崩壊した間際であり地下鉄に乗りながらまだアンバランスな東西の生活環境の差を感じた記憶もある。今回は、生まれかわった新都市ベルリンと国際色

Internationales
Deutsches Turnfest
Berlin 2005
14.-20. Mai



1

豊かになったトゥルンフェストの素晴らしさと感激を報告したい（写真1）。

2. ドイツ・トゥルンフェストと体操祭の歴史

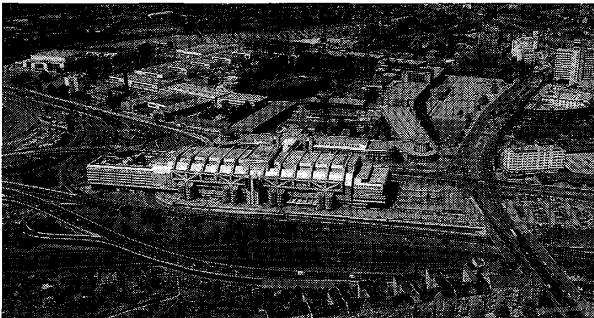
トゥルンフェストについて、ブロックハウス (Brockhaus) では次の様に述べられている。「多くのクラブ、地域、州の体操家の集う場であり、競技、演技発表、共同して祭典的に催される社交的な華やかな交流会などが同時に行われる。第1回目の地域を越えた大会は1841年フランクフルト (アムマイン) で開催された；プラウエン、ヘルブロン、フェルドブルグ (タウヌス)、

*中京大学教授, **日本体育大学教授, ***筑波大学名誉教授

ロイトリング、ヘイルブロン、ザクセン内のバルデングルグなど1850年までに大きな大会が開かれている。1860年にコーブルグで第1回目の合同の体操選手権が開かれ、それから不定期に、1898年（ハンブルグ）以降は定期的にドイツトゥルンフェストが実施されている。第2次世界大戦後1948年フランクフルト（マイン）で初めての地域を越える大会が組織され、1953年ハンブルグ、1958年ミュンヘン、1963年エッセン1968年ベルリンと継続的にドイツ・トゥルンフェストが行われている。」¹⁾ 現在までのドイツトゥルンフェストの開催年と歴史は、表1を参照願いたい。

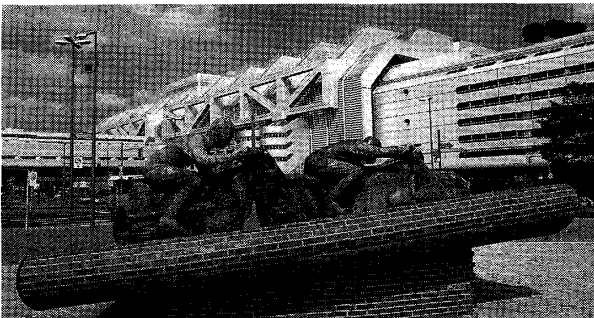
3. インターナショナル・ドイツ・トゥルンフェストベルリン 2005の概要

- (1) 期 日 平成17年5月14日（土）～
平成17年5月20日（金）
- (2) 会 場（写真2-1, 2-2）
ドイツベルリン市内メッセ（Messe-
lande）を中心に市内



above, the trade fair grounds with its halls, the Deutschlandhalle, the Funkturm (Radio Tower) and the ICC. The Funkturm (opposite), 150 metres high, very popular among Berliners and called the "Langer ulatsch" ("Beanpole"). It was officially opened in 1926 at the Third Radio Exhibition and was not damaged during the Second World War. In 1926 the first Green Jeek was also held here. Below, the modern, machine-

like Kongresshalle ICC (ICC Congress Hall), opened in 1979. Its largest hall can seat 5,000 persons. The building is 320 metres long, 80 metres wide and 41 metres high and is connected to the exhibition halls by a three-storey bridge. The monumental sculpture (right) by the French artist Ipoustegeuy is called "Man Build His City". The dynamic style of the not so monumental group of motorcyclists (below) is also impressive.



2-1

(3) 主 催	ドイツ体操協会 DTB (Deutscher Turner Bund)
(4) 参加者 (IDTB ホームページより)	メッセへの訪問者数 (5月19日まで)
	390792人
	トゥルンフェストアカデミー
	600ワークショップ
参加者	10000人
プレゼンター	200人
推薦競技者数	22055人
個人スポーツ種目 (登録者数)	15500人
球技スポーツ	16000人
大型グループ演技者	15000人
トゥルナーユーゲンドーオスカー (観客数)	12000人
トゥルナーユーゲンドショー	
“ライン1” (観客数)	6800人
トゥルナーユーゲンドーパーティ (参加者数)	20000人
ガストキンダーツルネンランド	
子供	2000人
グロースシュタットシューゲルン	
	3349人

4. トウルンフェスト行事内容 (プログラム内容)

- 1) 大会主催行事及び全体プログラム内容
(表2参照)

大会プログラムは大会主催の記念行事（優秀



2-2

なチームの演技)、競技(選手権大会)、演技発表、アカデミー(体操、ダンス、フィットネスの体験や指導方法など)、一般演技発表、参加

プログラム(レクリエーション、ドイツ生まれのスポーツ、体力テストなど)、スポーツ検定(体操、器械体操、スポーツ)、展示など羨まし

表1 ドイツトゥルンフェストの歴史



Deutsche Turnfeste 1860 bis heute

Jahr	Datum	Ort	Bezeichnung
1860	16.-19. Juni	Coburg	1. Deutsches Turn- und Jugendfest
1861	10.-12. August	Berlin	2. Deutsches Turn- und Jubelfest
1863	01.-05. August	Leipzig	3. Allgemeines Deutsches Turnfest
1872	03.-06. August	Bonn	IV. Allgemeines Deutsches Turnfest (DT)
1880	24.-28. Juli	Frankfurt/Main	V. Deutsches Turnfest (DT)
1885	18.-21. Juli	Dresden	VI. Deutsches Turnfest (DT)
1889	27.-31. Juli	München	VII. Deutsches Turnfest (DT)
1894	21.-25. Juli	Breslau	VIII. Allgemeines Deutsches Turnfest (DT)
1898	23.-27. Juli	Hamburg	IX. Deutsches Turnfest (DT)
1903	18.-23. Juli	Nürnberg	10. Deutsches Turnfest (DT)
1908	18.-23. Juli	Frankfurt/Main	11. Deutsches Turnfest (DT)
1913	12.-16. Juli	Leipzig	12. Deutsches Turnfest (DT)
1922	22.-25. Juli	Leipzig	1. Deutsches Arbeiter-Turn- und Sportfest (ATSB)
1923	14.-18. Juli	München	13. Deutsches Turnfest (DT)
1928	25.-30. Juli	Köln	14. Deutsches Turnfest (DT)
1929	18.-21. Juli	Nürnberg	2. Deutsches Arbeiter-Turn- und Sportfest (ATSB)
1933	26.-31. Juli	Stuttgart	15. Deutsches Turnfest (DT)
1938	27.-31. Juli	Breslau	Deutsches Turn- und Sportfest (DRfL)
1948	19.-23. August	Frankfurt/Main	Frankfurter Turnfest (DAT)
1953	02.-09. August	Hamburg	Deutsches Turnfest (DTB)
1954	18.-22. August	Leipzig	I. Deutsches Turn- und Sportfest (DTSB)
1956	02.-05. August	Leipzig	II. Deutsches Turn- und Sportfest(DTSB)
1958	20.-28. Juli	München	Deutsches Turnfest (DTB)
1959	13.-16. August	Leipzig	III. Deutsches Turn- und Sportfest (DTSB)
1963	15.-21. Juli	Essen	Deutsches Turnfest (DTB)
1963	01.-04. August	Leipzig	IV. Deutsches Turn- und Sportfest der DDR (DTSB)
1968	28. Mai – 02. Juni	Berlin	Deutsches Turnfest (DTB)
1969	24.-27. Juli	Leipzig	V. Deutsches Turn- und Sportfest der DDR (DTSB)
1973	12.-17. Juni	Stuttgart	Deutsches Turnfest (DTB)
1977	25.-31. Juli	Leipzig	VI. Turn- und Sportfest der DDR (DTSB)
1978	30. Juli – 05. August	Hannover	Deutsches Turnfest (DTB)
1983	26. Juni – 03. Juli	Frankfurt/Main	Deutsches Turnfest(DTB)
1983	25.-31. Juli	Leipzig	VI. Turn- und Sportfest der DDR (DTSB)
1987	31. Mai – 07. Juni	Berlin	Deutsches Turnfest (DTB)
1987	27. Juli – 02. August	Leipzig	VIII. Deutsches Turn- und Sportfest (DTSB)
1990	27. Mai – 03. Juni	Dortmund/Bochum	Deutsches Turnfest (DTB)
1994	15.- 22. Mai	Hamburg	Deutsches Turnfest (DTB)
1998	31. Mai – 07. Juni	München	Deutsches Turnfest (DTB)
2002	18.-25. Mai	Leipzig	Deutsches Turnfest (DTB)
2005	14.-21. Mai	Berlin	Internationales Deutsches Turnfest (DTB)
2009	NN	Frankfurt/Main	Internationales Deutsches Turnfest (DTB)
2013	NN	Vergabe erfolgt 2005 oder 2006	

Abkürzungen:

- DT Deutsche Turnerschaft
- ATSB Arbeiter-Turn- und Sportbewegung
- DRfL Deutscher Reichsbund für Leibesübungen
- DAT Deutscher Arbeitsausschuss Turnen
- DTSB Deutscher Turn- und Sportbund (DDR)
- DTB Deutscher Turner-Bund

い限りである (写真3, 4, 5)。中でも、最も足を運んだショー演技の発表は、大会プログラムによると次のような概要である^{2), 3)}。

(1) Schauvorführung ohne Bewertung (show

performance)……器械体操、ダンス、ジャグリング、ムーブメントシアター、エアロビックダンス、ジムナスティック、大道芸、ロープスキッピングなど全ての魅力的なグ

表2 トウルンフェストの主なプログラム内容

カテゴリー	プログラム内容
SHOW	Stadiongala (閉会式セレモニー) Show der Meister (体操競技、新体操、トランポリン、ラート、アクロ体操、ロープスキッピング、体操、ダンスのトップスターの演技) Turngala I-III (トウルネン、ダンス、アクロ体操のスターを集めた演技) Danish gym. (デンマークナショナルグループによる演技) Rendezvous der Besten (ドイツ体操連盟の推薦グループの演技) Matinee der showvorführung (一般演技発表の優秀チームの演技) Internationale Soiree (国外の招待チームの演技) Tuju-show (トウルナーユージェンドの演技発表) Tuju-Oscar (トウルナーユージェンドのオスカー) Matinee 50plus (高齢者の優秀チーム)
Wettkampf	Individuellsportsarten (個人スポーツ競技) (Gerätturnen, RSG/Gymnastik, Trampolin, Aerobicdance, Sportsacrobatik, Rhrönrادتturnen, Orientierungslauf, Ropeskiping) (Turne-) Spiele (ドイツ生まれのスポーツ) (Faustball, Prellball, Korbball, Indiacca, Voelkrball, Schleudelballspiel, Volleyball, Handball, Speedminton) DTB – WWK DMKM
Mitmachen	Wandeln (楽しく気のむくままの散歩) Stadtrally (ベルリン市内の知的探訪) Grossestadt – Dschungel (ベルリンの町へ散策) Turnsileparcous (球技、インディアカなどのレクスポート)
Akademie	Fitness und Aerobic (フィットネスとエアロビック) Gym. und Dance (体操とダンス) Wellness und Gesundheitsports (ウエルネスと健康スポーツ) 50plus (高齢者プログラム) Kinderturnen (子供のスポーツ) Gerätturnen (器械体操) Management (マネジメント) Akademie-Forum (フォーラム)

グループは、異なる段階の全てのスポーツ種目の多様性を発表するために招待される。独創性や創造性は限界がない。全ての演技は、ステージのスポットとなる。

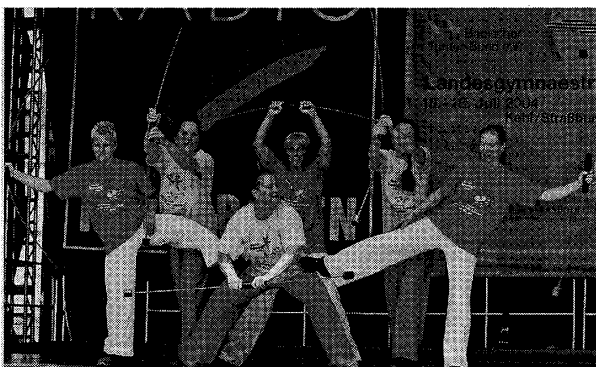
(2) Schauvorführung mit Bewertung (show Performance with judgement)……評価の



3



4



Junge Erwachsene beim organisierten Sport zu halten, stellt heutzutage eine besondere Herausforderung für die Vereine dar. Wer sportliche Trends berücksichtigt, hat auf jeden Fall gute Karten. Fotos: Weber

5

ある演技発表—一定の基準により判断される—専門的なフィードバックがあり、判断は次の2カテゴリーにより各50%で評価される。

PART. 1 (a) コンセプト、(b) 音楽伴奏 (音楽)、(c) 独創性 (創造性)

PART. 2 (a) 運動の質、(b) 表現性、(c) 道具・マテリアル・衣装である。

そして、次の4段階でグループに結果が報告される。

Mit hervorragendem Erfolg teilgenommen (最も優れている)

Mit sehr gutem Erfolg teilgenommen (大変優れている)

Mit gutem Erfolg teilgenommen (優れている)

Mit Erfolg teilgenommen (良い)

(3) Grossegruppenvorführung (Large group performance)……集団演技は、特殊な生命力!となり、力を得て一体となることで満足感を得る。美的体験としての動きの造形、多くの人々の動きの斉一性は、スポーツの運動文化の伝統的かつ現在でもねずいた一部である。ベルリンの大型グループは、観衆を魅了し、特殊な生命の体験を伝えてくれる。

(4) Rendezvous der Besten (The "Rendezvous of the Besten")……ドイツ体操連盟の推薦グループの演技である。

(5) Magnetbühnen (Magnet Stage)……全てのグループに開かれている。

(6) Trend und Gesundheit (Trend hall)……Latin dance, Body & mind, Flexibar などフィットネスの最前線の最新傾向が示される。ただ、これが全てでなく、参加者は生き生きした演技、情報、イベントへの参加、インタビューなどスポーツとフィットネスの世界に夢中となる。参加者は、見て、驚き、参加し、喜び、何かを学ぶであろう。あなたは、フィットネスとトレンドを指導する出演者、製品、用具、サービスを見るであろう。トレンドホールは、ショーパフォー

マンスのために提供される。「いつも何かがある－退屈することはない」

- (7) Chreografic-Werkstatt (Choreography Workshop)……体操祭のシステムの中でも特別な提供である。全てのグループは、コレオグラフィー・ワークショップで専門的な提案を求めるために招待されている。スポーツ、演劇、文芸、アートからの専門家は、興味あるグループに対して助言を求めることができ、また、演技を改善する方法、演技をより魅力的に変える方法についてのヒントを得ることができる。演技自体が、急に応用されるところに多くの成果がある。全てのグループは、グループのコレオグラフィー含めて45分である。コレオグラファーは、グループと一緒に変化をつける作業をする。必要ならば英語の翻訳もありうる。最終的に何がおこるかみて興奮するはずである。見学も可である。

また、今回600を数えるトゥルンフェストアカデミーの内容は、プログラムによれば次のようである。

- (1) Fitness und Aerobic-Akademie (フィットネスとエアロビック熱愛者の大集団)……ステップエアロ、エアロダンス、エアロバリエーション、ラテンフィーリング、用具無しワークアウト、ストレッチング、ピラテス、フィットネスファイティング、スピニング (spinning)、ラングハンテル (亜鈴) 活用のトレーニング。
- (2) 50Plus (時を越えて－長く若くい続けるために)……エアロビック・フィットネストレンド 50Plus、脳の健康－頭を働かせる、知覚～協調～筋力、ダンス－音楽で全てに人を改善する。
- (3) Wellness und Gesundheit-Akademie (ウエルネスと健康－外国の傾向)……Body & Mind、東洋の運動文化、ヨガバリエーション、知覚～緊張～快感、バランス～コーディネーション～固有受容器、機能的筋力と伸展、健康上の制限の場合の運動提供、骨盤トレーニング、過体重のための運動提供

- (4) Gym-und Dance-Akademie (ダンス－リズム感覚) 用具無し、色々な手具による組み合わせ、コーディネーションとリズム構成能力改善のための提供……多領域の体操、ダンスの基礎課題と創造性、ジャズ－モダンダンス－クラシックダンスとバリエーション、色々な文化のダンス：ラテン、リバーダンス、アフロダンス、イージーダンス、ラテンダンス、音楽とダンス、ダンスとショー、現代風ダンス：ビデオ、MTV-MOVE, HOUSE：HIPHOP, BREAKDANCE

5. プログラム (演技内容) の報告

大会プログラム内容の様に、羨ましい位の豊かな内容であり、各会場ともアイデア、陽気さ、表現力に関心させられたが、本人が実際に見学しVTRや写真撮影ができた内容の中で、特に興味を魅かれたのみに限定して内容の報告をしたい。

1) 集団演技 (Grossengruppen Vorführugen)

大会の説明では、「集団演技は、特別な芸術の体験」とし、動的な造形、多人数の同調性を美的な体験として扱われる。これは、伝統的でしかも生き生きした体操の運動文化の形式に属するものである。」5月19日にメッセ会場内の中央広場 (Sommergarten) で行われた。約15グループにより、タオル、フープ、旗、パラソル、ボールなどを用いて演技される。ヘッセンから220人、デンマークからも招待チームがある。重要なことは、楽しむこととチームとの一体感である。

デンマークの2チームについて述べてみる。

- ①オレロップ高等専門学校 (Ollerup) (演技名：リズム体操、転回、タンブリングの演技 (写真6, 7, 8)……男女の軽快な体操 (男女合同)、女子体操、男子体操、女子ボール、男子の倒立、タンブリング、男女合同演技である。
- ②Gymnastics and Sports Folks-DGI (演技名：ショー体操、タンブリング)……女子の体操、ミントランポリン、ミニトラポリン、女子の椅子の演技など多彩に展開される。

2) 50Plus (高齢者プログラム)

50歳以上が参加する演技の名称である。トゥルンフェストには、50plus infothek, Matinee 50-plus, Oldie-Nacht, Fröhlicher Zilletest, Gruppen-Wahlwettbewerb der Älteren, Zusehen und Mitmachen"-Aktionfläche, Sing mit-Hörzu, Tanz-nachmittage 50plus, Tanzmedaille, Tanzspiele など時代の波か、豊富に組まれていた。ここでは、優秀チームによる演技である Matinee 50plus 内容を中心に報告する。プログラムによれば、“Maitnee 50 Plus-Reife Leistung”、これは、独自の振り付け或いはコスチュームにより、外国ゲスト或いは体操、ダンス、トゥルネン等の演技の一部である。人々が、加齢につれて積極的に動く。グループの選択は、大会期間に決められる。以下、演技の概要を示す。

①女性婦人の演技(演技名：“Tanz auf den Wellen”, グループ名：Karin Finkheiser Hampel) (写真9)……白い三角形の形状の用具

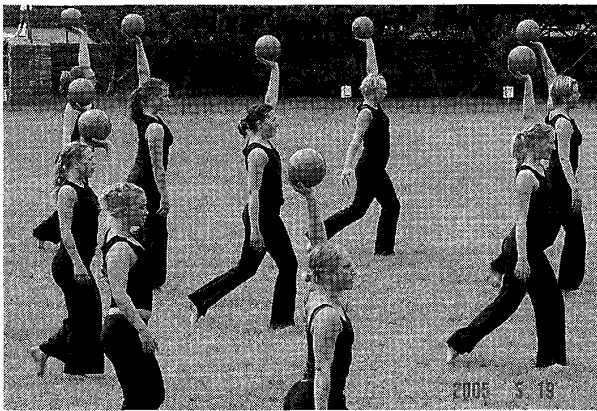
を使った海に漂うヨットをストーリーにした演技で、用具の組み合わせによる造形が楽しい展開である。

②男性のアイゼンリングの演技(演技名：“Manner und Eisen”, グループ名：TV Asberg und TG Moers)

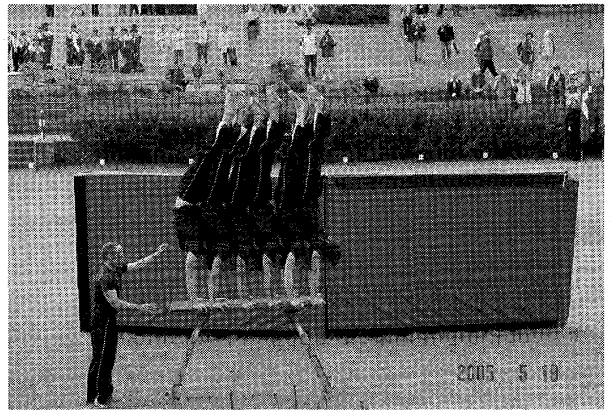
③女性チューブの演技(演技名：“Spannung”, グループ名：VFB Hermsdorf, 指導者：Erika Schindler) (写真10)……セラバンド風チューブによる動きの中でチューブを伸ばす時の元気な表現がいい。

④男性の軽快な演技(演技名：“Dream Boys”, グループ名：TV Nellingen, 指導者：Helmut Beck)……男性の軽快な動き(手具無し)

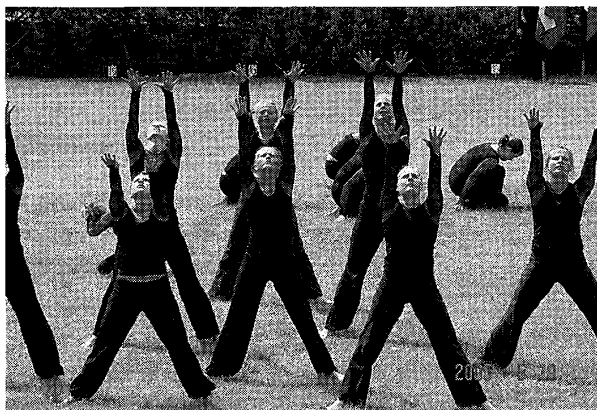
⑤女性によるトゥルネン(演技名：“Bode-nubngen”, グループ名：Schwebestange)……2人の女性による平均台(写真11)……トゥルネン(器械運動)の発祥地であるドイツとはいえ、70歳の2人の婦人(なん



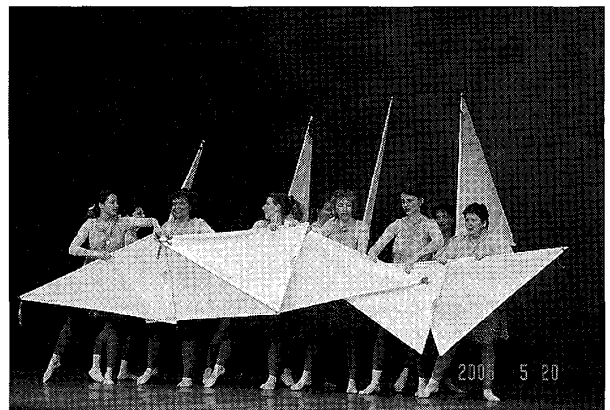
6



8



7



9

とレオタードがフィット)による平均台の水平バランス、また、80歳婦人が基本的ではあるが側転や三角倒立などを軽快にこなす演技は圧巻であった。長い間培われた身体資質や生涯スポーツを継続してきた人に許されるゆとりを感じる。

- ⑥男女旗と輪の演技(演技名:“Gymnastik mit Fahnen und Reifen”, グループ名:VT 1898 Frankenthal, 指揮者: Cornelie Gringard)
- ⑦婦人によるリボンとボールの演技(演技名:“Gymnastik mit Band und Bällen”, グループ名: MTV Aalen, 指導者: Heide Mödinger)
- ⑧男性によるミニトランポリンとボックの演技(演技名:“Old timer”, グループ名: Sc Blau-Weiss Bachrach, 指導者: Wilfried Weisbarth) (写真12)……男性高齢者がミニトラと体操台を使ったショーのような演技、高齢者の見事な宙返りが光る。
- ⑨女性による帽子使用の演技(演技名:“Seniorentanzgruppen”, グループ名: SGDFHK Leipzig, 指導者: Hannelore Schiller)
- ⑩女性によるエプロンと帽子を使用した演技(演技名:“Seniorentanzgruppe”, グループ名: PSV90 Neubradenburg, 指導者: Hannelore Schiller)
- ⑪男性による紐付き棒の演技(演技名:“Kari-blkieber”, グループ名: Hansbruch-Neuburandenburger TS, 指導者: Astrid Röttger)
- ⑫ドイツの女性と日本のサンフェローズ(グループ名: 川元体操グループ)による扇子活用の演技(演技名:“Crossover-Verbindung”, グループ名: Japan-Deutschland, 指導者: Atja Gotzova & Teruko Kawamoto) (写真13)
- ⑬女性によるボールを使った演技(演技名:“Ballgymastik”, グループ名: TG Main Rhein, 指導者: Annelise Kreth)

3) ショー演技発表“Shauvorfürung”

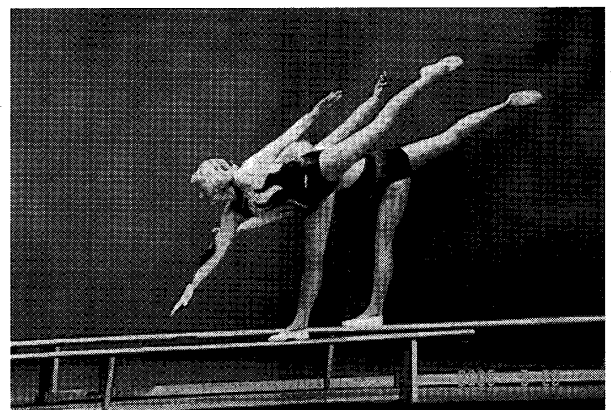
一般演技発表では、体操系、ダンス系さまざまな内容による演技発表が行われる。会場も数会場同時展開され、演技は色々な年齢層による表情豊かに行われた。いつもドイツ人の豊か

なアイデアと表現には驚かされる。ここでは、VTRに録画でき、印象に残っている演技をいくつか紹介したい(写真14-1, 14-2)。

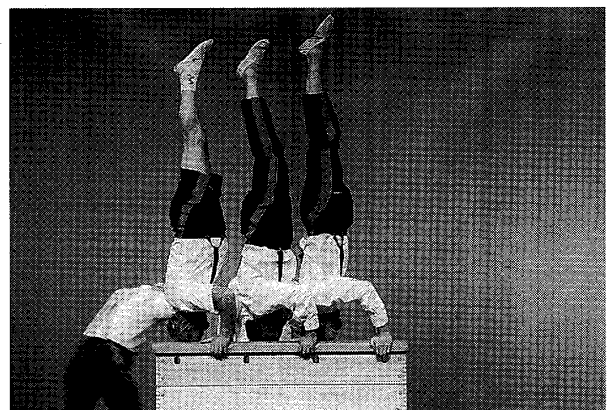
- ①高齢者の演技(グループ名: Hammerum Efterkole DGI) 5月15日 H17発表……多人数の男女の高齢者によるリズムカルな体操、組体操、サークルでの動きが次々転回される。赤いTシャツと白ズボンの衣装で、高齢者とも思えない活発さである(写真15)。



10



11



12

②女性ダンスグループ (グループ名: ENASSA, Karin Chacon, 演技名: "Frauen Tanz", 指導者: Karin Chacon, 5月16日).....黄色いかつらにブラックスーツのジャズダンス風演技 (写真16)。

③男女成人によるエアロビックダンス (グループ名: TSG Hofherrnweiler Unterrombach, 演技名: "generation act", 5月16日発表).....ボクシングスタイルによる男女成人のアップ

テンポのハイインパクトエアロビックダンス。軽快なステップとグループの同感、グループによる造形が楽しみ。技能的にも高いグループである (写真17)

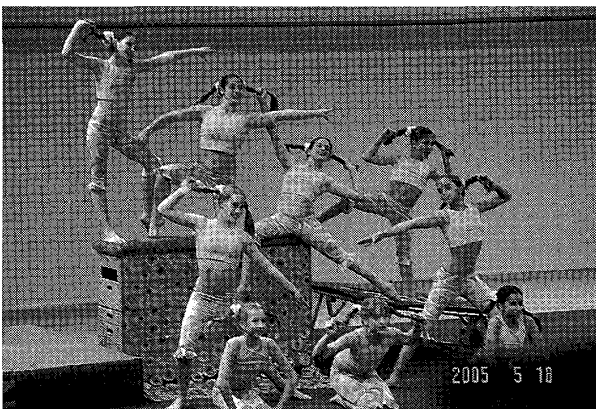
④長い板活用の演技 (グループ名: Turn und Sportgemeinschaft abtsmund, TSG Abtgmünd Ostalburgler, 指導者: Corinna Oppold, 演技名: "Turn und Sportakrobatik").....少女による長い板を活用した演技、板を立てる、



13



15



14-1



16



14-2



17

支える、まわすなどを中心に板の直線性と人の姿勢の一体感や、空間での板の形状と人の造形美の調和が美しい。このグループは、箱を使った演技も好評であった(写真18)。

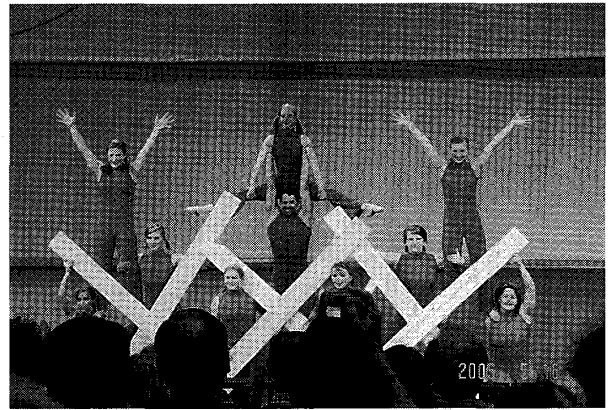
⑤女性によるアクロ体操(グループ名: Fredrikstad Turnforening, 指導者名: Vivi Ann Evensen, 演技名: “Gymnastik und Akrobatik”) 5月17日発表……美しい白の上下つなぎで鍛錬された少女と女性によるアクロバット体操の演技。通常は、演技単独の演技で一度静止し、その後次の技に進むパターンに対し、このグループは、同系列のリフトを連続して行う技能の高さを持っていた(写真19-1, 19-2)。

⑥少女による平均台とタンブリングの演技(グループ名: Turnverein Nellingen 1893ev, 指導者: Bettina Rogalski, 演技名 “Aerobic / Tanz”) 5月18日……少女による平均台(長椅子)を使った演技、長椅子上のかわいらしいポーズや倒立など子供の演技でも卓越した感があった。年少期からの体操指導の中で、これだけの身体資質や表現性が培われるのだと感激した(写真20)。

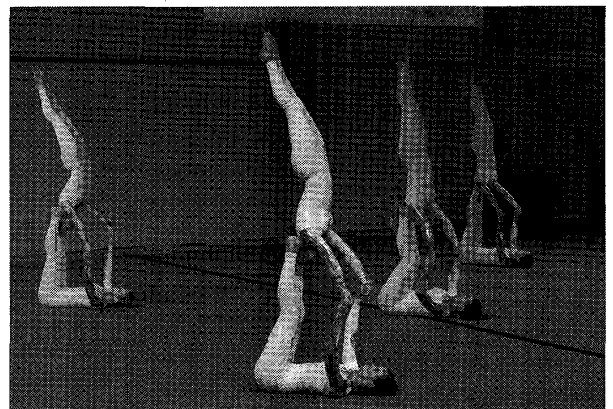
4) International Soiree (インターナショナル・ソアレ)

2005年5月19日20時より近代的な設備のICC-Hallで、約7000人の観客を集めて行われた。テーマは、“……and We all love Gymnastics”である。演技は、全てドイツ国外の招待チームによって編成されており、チームは、ドイツ、デンマーク、日本、スロバキア、エストニア、スイス、ノルウェー、オーストリア、ポルトガル、スロバキア、イスラエルなどからのグループは16演技を実施した。日本からは、サンフェロー(代表: 川元照子先生)は、日本的な民謡調の音楽と優雅で軽快な動きとインターナショナルオールドボーイ(代表: 荒木達雄先生)男性的な体操、タンブリング、アクロ的な要素の動きで好評を博した。魅かれた演技を数例次に報告する。

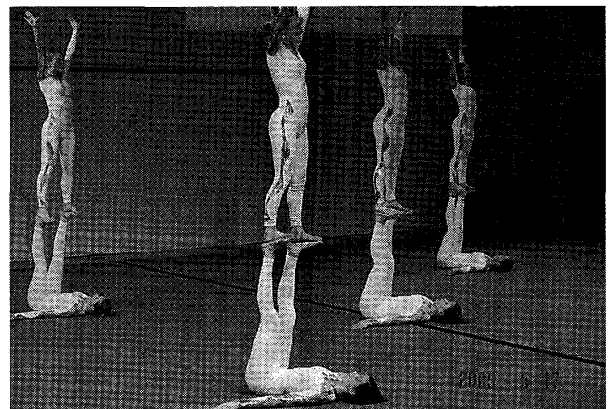
- ①デンマーク(少女)……円形台活用のアクロ体操、個別の演技は技能が高い(写真21)。
- ②日本(インターナショナルオールドボーイ)(男性)……体操、タンブリング、アクロ的要素を盛り込んだ演技で好評を博した(写真22)。
- ③ノルウェー(男性)……珍しい長い棒活用の演技。演技の棒を持つ、回す、立てる、支えるなどの使い方は、男性の特性に適合する



18



19-1



19-2

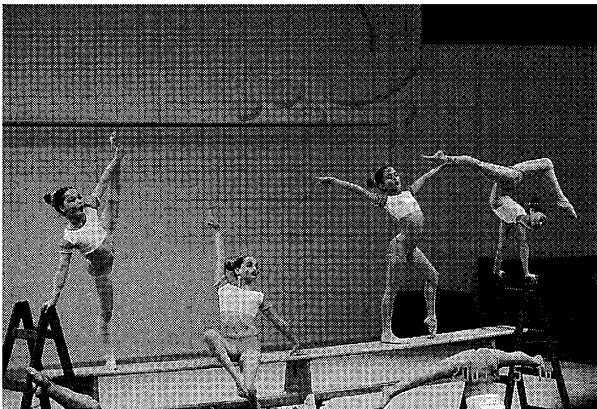
ものである。プログラム構成も独創性があり、次々展開される演技は飽きさせない（写真23）

④スイス（男性）……多数の平行棒を使ったショー（写真24）

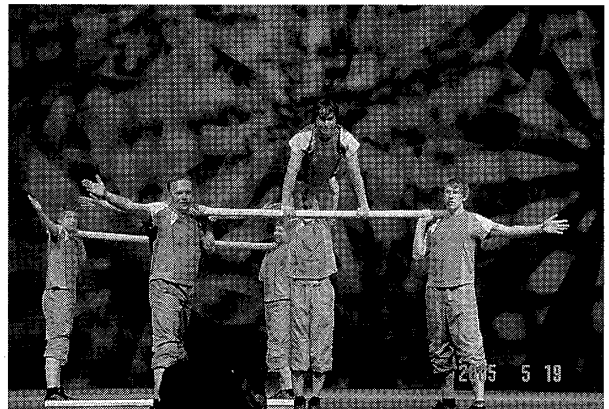
⑤スロバキア（男女）……少女によるアクロバット体操の妙技（写真25）

5）スタジアムガラ（閉会式）

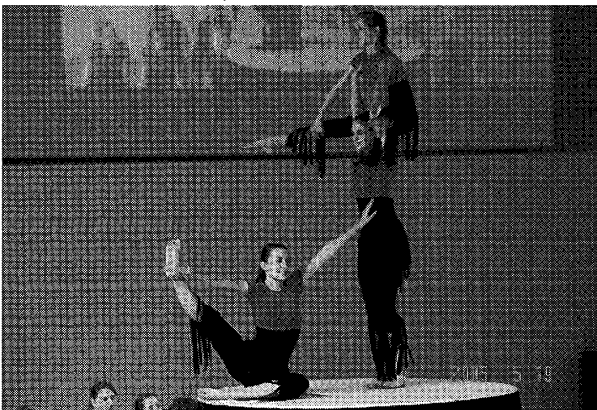
閉会式は、トゥルンフェスト週間最終日の5月20日に、オリンピックスタジアムで開催された。伝統ある厳かなスタジアムで、以前カール＝デーム教授のモニュメントなどもあり感激したが、今回は外環から内部の観客席、大型ビジョン、タータントラックに至るまで新装され、客席までの回廊に昔の面影が感じられた。会場は、フィールド中央に、暗幕の張られた3段の大舞



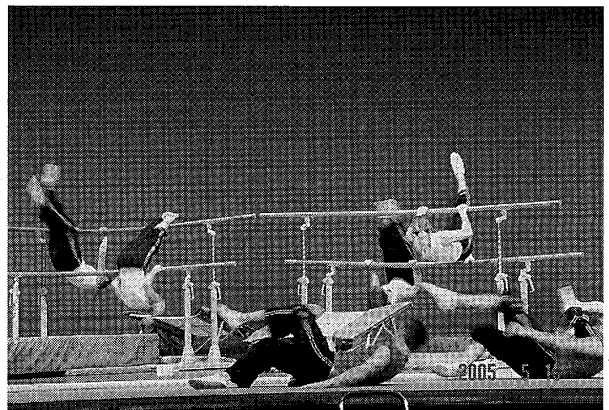
20



23



21



24

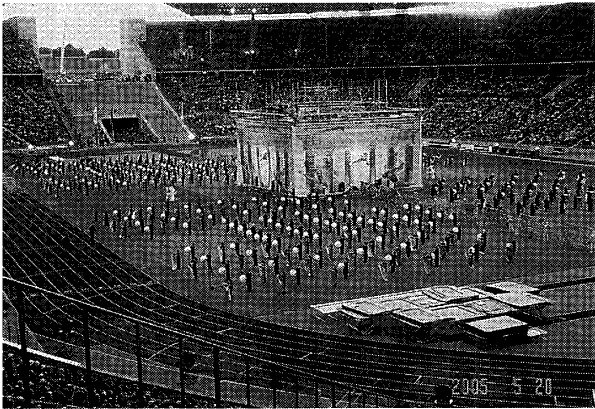


22

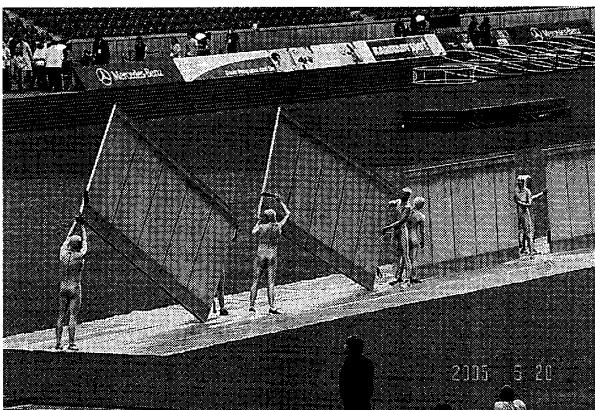


25

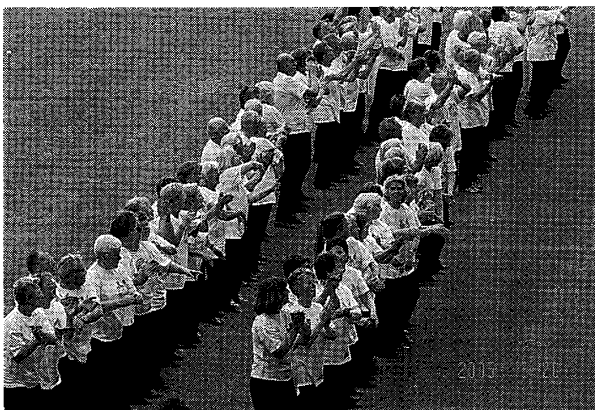
台が組まれている（写真26）。これは、閉会式の演技でも使われるが、ブランデンブルグ門の象徴であり、ベルリンやブランデンブルグのツルナーの希望や、アスリートスポーツやアスリートの体力の表現でもあるとのことである。開会式には、70000人以上の熱狂的な観客により埋め尽くされた。閉会式は、21時から始まり、約2時間で12のショーが行われた。以下大筋を示す。



26

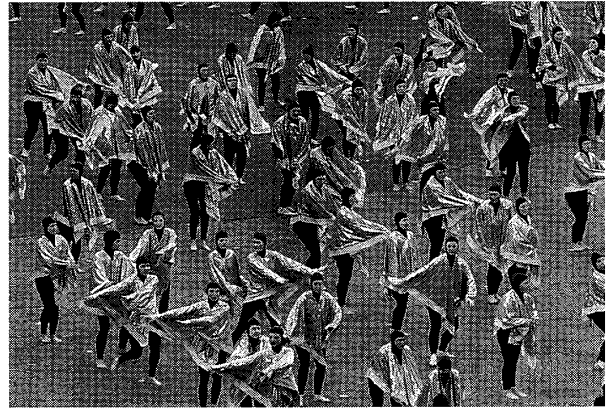


27

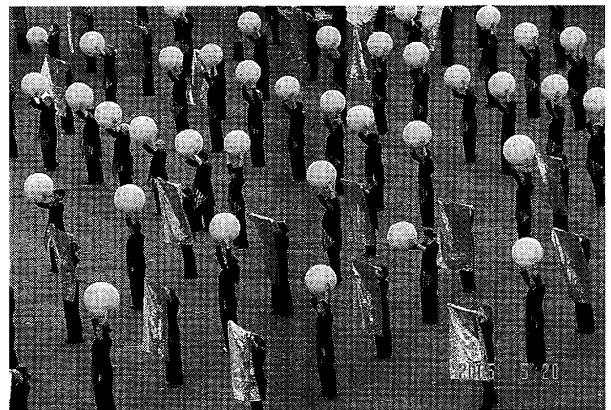


28

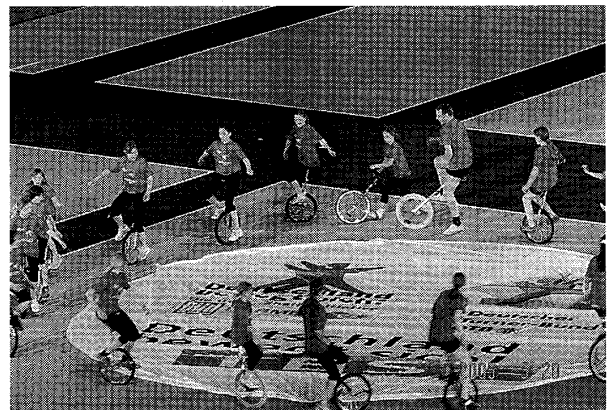
- (1) ベルリンの壁のストーリー（写真27）
- (2) マスコットパレード
- (3) トランポリン、高齢者パフォーマンス（写真28）
- (4) 子供のパフォーマンス
- (5) 2007年ワールドジムナストラダの宣伝
- (6) マントつけた女性による演技（写真29）
- (7) ジムボールの演技（写真30）
- (8) ドイツ連邦旗、ユーロ旗、万国国旗活用



29



30

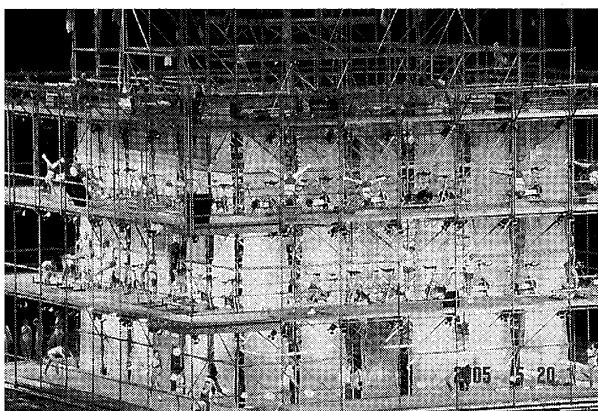


31

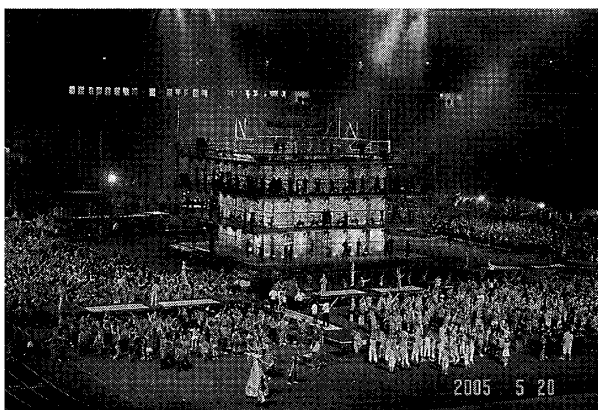
の演技

- (9) ペアーのヌイグルミによる演技
- (10) カヌーのオールや三角形の用具の演技
- (11) トラックショー
- (12) 婦人による演技
- (13) Radsports の演技 (自転車、一輪車、ラートなど) (写真31)
- (14) 女性のダンス
- (15) 中央舞台のトゥルネンの演技 (写真32)
- (16) フィナーレ (写真33)

特に、次々繰り上げられる演技は、それぞれの専門の振り付け師の構想であり、楽しく軽快に展開されるが、圧巻は、ライティングされ、内側から光輝く中央舞台の演技は、アテネ五輪の体操選手による演技や、櫓の周囲の走路で、トゥルナーがタンブリングの連続や、あん馬、吊り輪などを披露する演技は、まさにドイツの象徴であるトゥルネンの表現であろう。2つの



32



33

シンボルの表現で、会場はクライマックスとなり、熱狂的な渦の中で、花火が打ち上げられ会が閉じられた。

6. おわりに

- 1) ドイツの最大のスポーツ祭として、国内外のスポーツ選手やグループを集めより国際性のあるスケールの大きい大会であった。また、優秀チームやスターの層の厚さにも感激した。
- 2) 大会プログラムも再編され、ショー、競技、参加プログラム、ワークショップ、一般発表などより豊かな、開放的な内容であった。国内外のグループを集めて夕刻を飾るショーも相変わらず人気があった。今回は、インターナショナルソアレと Matinee 50Plus のみであったが、相変わらず新鮮で成果は大きかった。
- 3) トゥルンフェスト・アカデミーは、今回600ものワークショップを要しており興味深い場である。今回、体操的なプログラムや、フィットネスの新しい情報は、十分出会えなかったため、次回はワークショップも大いに参考にしたい。
- 4) 最も見た頻度の多い Shauvorführung では、体操系では (器械体操、タンブリング、ミニトラ、アクロ、新体操など) で流石ツルネンの国で器械活用の演技は表現性、多様性も技能も高かった。また、アクロ体操主体の技の高い演技が見られた。ダンス系では、Tanz, Showtanz, Hiphop, Street dance, Aerobic dance など多彩で、その他 Rope skipping など多かつたように思う。
- 5) 今回の発表では、International Soilee (ICC-Hall) 4000の観客と街中の広場でもストリート感覚を持たた Magnetbühne (Sony center) 2回で、いずれも貴重な体験であった。

その他、ベルリン市内のブランデンブルグ門、ウンターデンリンデン、ペルガモン博物館などの歴史的な文化財も以前と変わらず感激を与えてくれた。今後も、大会の広がりスピード

についで行けないジレンマがあるが、新しいも方向や時代の傾向を感じられる感性を大切にトゥルンフェストでの動向を見続けて行きたいと考えている。

最後に、今回のトゥルンフェストの実り多いツアーの企画者と体操仲間に感謝の意を表したい。

参考文献

- 1) Brockhaus, "Deutsches Turnfest" の項, Der Brockhaus wiesbaden, 1982, pp.504~505
- 2) DTB, "Internationales Deutsches Turnfest in Berlin" (Berlin bewegte uns), 2005
- 3) DTB, "Programm Vorführung", 2005
- 4) 川端昭夫、「ドイツ体操祭視察報告（ミュンヘン）」、中京大学体育学部論叢40-2、1999